

2. 令和4年度予算額

(1) 事務事業別予算額 (単位: 千円)

| 費 目 | 予算額(千円) | 備 考 |
|------------------|---------|---|
| 行政事務費 | 3,154 | (決算額) |
| 管理運営費 | 22,668 | |
| 船舶保全費 | 25,437 | 島根丸(142t)、やそしま(9.1t)、ござ(8.5t) |
| 漁業無線管理運営費 | 29,526 | |
| 農林水産試験研究機関施設等整備費 | 2,320 | (決算額) |
| 県単試験研究費 | 39,820 | 政策推進 7,999 千円、課題解決 7,988 千円、基礎的 23,833 千円 |
| 国補試験研究費 | 1,094 | 魚貝類安全対策等 |
| 受託試験研究費 | 60,688 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構ほか |
| 交付金試験研究費 | 1,392 | 原発交付金 (温排水調査等) |
| 合 計 | 186,099 | |

(2) 研究事業別予算額 (単位: 千円)

| 一連 番号 | 区分 (財源) | 研究課題名 | 期間 | 研究概要 | うち令和4年度分(千円) | | | 備考 (受託元、交付元等) |
|---------------|------------|-----------------------------------|-------|---|--------------|--------|--------|------------------|
| | | | | | 県費 (一財) | その他 | | |
| 1 | 政策 (県単) | 操業情報を活用した底 びき網漁業資源管理プ ロジェクト | R1~R4 | 本県で開発した沖合底びき網漁業におけるアカムツ小型魚の分布予測シ ステム(以下アカムツシステム)を他の重要魚種にも応用し、ICTを活用した 主要底魚類の分布予測システムを構築する。さらに市場価格と連動させた 最適な漁獲ルールを提案するとともに、小型魚の漁獲を低減させる漁具を 開発し、底びき網漁業の適切な資源管理と経営の安定化を図る。 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 2 | 政策 (県単) | 沿岸域の有用な磯根資 源の増殖技術の開発 | R2~R4 | 沿岸漁業者の所得の安定と向上を図るため、ナマコやアカモクなどの経済 的な価値の高い有用な磯根資源の増殖について、静穏性の高い漁港や 周辺海域の活用を含めた技術開発及び加工・流通について検討を行う。 | 3,499 | 3,499 | 0 | |
| 3 | 政策 (県単) | 定置漁業の持続的発展 支援プロジェクト | R3~R4 | 網の敷設場所を決定するために必要な海底地形や潮流の調査や魚類の 回遊状況などの漁場調査の実施する。 調査データを基に、網の規模、構造やアンカー量などの投資額の算定に必 要な情報を収集する。 | 2,500 | 2,500 | 0 | |
| 《政策推進研究課題 小計》 | | | | | 7,999 | 7,999 | 0 | |
| 4 | 県単 | 沿岸自営漁業者の所得 向上支援プロジェクト | R3~R5 | 高単価魚種であるケンサキイカ等を効率的に漁獲できる漁法(樽流し縦縄 漁法)の開発や、漁獲物の付加価値を高める漁獲処理手法(イカの墨抜き) の開発を行う。さらに海況情報を活用した操業の効率化(スマート沿岸漁 業)の可能性について検討し、沿岸自営漁業者の所得向上を図る。 | 6,127 | 6,127 | 0 | |
| 5 | 県単 | 重要磯根資源(サザエ、 アワビ)の資源管理適正 化事業 | R3~R5 | 沿岸自営漁業者にとって重要な資源であるものの、近年漁獲量が減少傾 向であるサザエ、アワビについて、成熟度や肥満度、漁獲実態等の調査を 行い、資源維持・回復に向けた資源管理方策の検討・提案を行う。 | 1,861 | 1,861 | 0 | |
| 6 | 県単 | 沿岸域等の未利用資源 を活用した加工技術の 開発 | R4~R6 | 沿岸域等に生息する魚介類のうち未利用資源に着目し、その成分特性等 を最大限引き出すことができる加工技術の開発と商品づくりを目指す。ま た、マーケットインの視点を重視した売れる商品づくりを目指す漁業者、水 産加工業者等への支援に必要な調査研究を実施する。 | 2,191 | 2,191 | 0 | |
| 7 | 県単 | 汽水域有用水産資源調 査 | R4~R6 | 汽水湖である宍道湖並びに神西湖の特産品であるヤマトシジミや、宍道 湖・中海で漁獲される有用魚類などの資源動向や生息環境のデータを収 集し、漁業者による資源の維持管理と増殖手法の検討を行うための情報を 提供する。 | 8,582 | 8,582 | 0 | |
| 8 | 県単 | アユ資源回復手法開発 事業 | R4~R6 | 県内アユ資源の回復・安定化を図るため、種苗生産した地場産アユ種苗や 養成親魚を活用した積極的な資源添加手法の開発を行う。 | 2,953 | 2,953 | 0 | |
| 9 | 県単 | 藻場分布状況モニタリ ング調査 | R4~R6 | 県内の藻場の分布状況の把握及びその減少要因の究明のためのモニタリ ング調査を継続実施し、併せて、藻場モニタリング調査の高度化や省力化 が図られるAI技術を用いたモニタリング手法の開発を目指し、効果的な藻 場増殖対策の推進を図る | 4,622 | 4,622 | 0 | |
| 10 | 県単 | 沿岸有用水産生物の増 養殖技術開発 | R4~R6 | 沿岸自営漁業者の所得向上を図るためのイワガキの養殖技術開発やワカ メの生産の効率化・安定性を高めるための増養殖の技術開発を行う。 | 5,485 | 5,485 | 0 | |
| 《一般研究課題 小計》 | | | | | 31,821 | 31,821 | | |
| 11 | 県単 | 島根原子力発電所の温 排水に関する調査 | S42~ | 島根原子力発電所から放水される温排水による、海洋環境および海洋生 物への影響を調査する。 | 1,392 | 1,392 | 0 | 原子力安全対策事業 |
| 12 | 受託 (国庫) | マアジ資源新規加入量 調査 | H14~ | 日本海南海域において中層トロール網によりマアジ稚魚の分布量調査 を実施し、日本海へのマアジ当歳魚加入量の推定を行う。 | | | | |
| 13 | 受託 (国庫) | 主要浮魚類の資源評価 と漁況予測に関する研 究 | H13~ | 本県の主要浮魚類について漁獲統計調査、市場調査、試験船調査により 資源状態を把握し、主要浮魚資源について漁況予測を行う。 | | | | |
| 14 | 受託 (国庫) | 主要底魚類の資源評価 に関する研究 | H13~ | 本県の主要な底魚類の資源状況を漁獲統計調査、市場調査、試験船調 査により把握し、資源の適切な保全と合理的・持続的利用を図るための提 言を行う。 | 25,228 | 0 | 25,228 | 水産庁 |
| 15 | 受託 (国庫) | 重要カレイ類の資源評 価と管理技術に関する 研究 | H13~ | 本県の底びき網漁業の重要な漁獲対象資源であるムシガレイ、ソウハチ、 アカガレイの資源回復を目的として、これらを漁獲対象とする漁業の管理 指針作成のための基礎資料を得る。 | | | | |
| 16 | 受託 (国庫) | 島根県における主要水 産資源に関する資源管 理調査 | H23~ | 島根県における主要水産資源の合理的・持続的利用を図るため、県内 における漁業種別・魚種別の漁獲動向を把握し、資源管理手法開発の基 礎資料とする。 | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------------------|----------------|--|------|--|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 17 | 受託 (国庫) | 日本海周辺クロマグロ調査(水産資源調査・評価推進委託事業(国際水産資源)) | H24～ | 漁獲統計の整理と生物測定を実施し、日本海周辺海域に分布するクロマグロの資源評価を行う。 | 9,576 | 0 | 9,576 | 水産庁 |
| 18 | 受託 (国庫) | フロンティア漁場整備生物環境調査(日本海西部地区整備環境生物等調査業務委託) | H20～ | ズワイガニ・アカガレイを対象にした魚礁設置のための事前生物調査等を、隠岐周辺海域等でトロール網等により行う。 | 7,111 | 0 | 7,111 | 水産庁 |
| 19 | 受託 (国庫) | 日本海における大規模外洋性赤潮の被害防止対策事業 | H20～ | 山陰沿岸に来遊し、サザエやアワビ等に被害を与える外洋性有害赤潮に対応するため、発生状況や海洋環境について、モニタリング調査を行う。さらに、衛星画像解析等により発生機構を解明するとともに、赤潮輸送シミュレーションによる発生予察技術を開発する。 | 541 | 0 | 541 | 水産庁 |
| 20 | 受託 (その他) | マウンド礁調査(隠岐海峡地区マウンド礁整備効果調査業務に係る環境調査業務) | H31～ | フロンティア漁場整備事業(隠岐海峡地区)において、マイワシ・マサバ・マジを対象として整備したマウンド礁等での環境生物等の調査を実施し、マウンド礁の増殖、増殖効果を把握するための各種情報の取得を行う。 | 1,000 | 0 | 1,000 | 水産庁 |
| 21 | 受託 (国庫) | 環境収容力推定手法開発事業 | R2～ | アユ種苗放流の資源添加効率の向上を図るため、放流試験によりアユ種苗の放流から解禁までの時期、放流サイズ等のパラメーターについて検討を行う。また、天然遡上アユ減少要因の把握と、天然遡上量回復のためのふ化放流試験を実施する。 | 1,000 | 0 | 1,000 | 水産庁 |
| 22 | 受託 (その他) | 大型クラゲ出現調査及び情報提供事業(有害生物出現情報収集・解析及び情報提供委託事業) | H27～ | 日本沿岸に大量に来遊すると大きな漁業被害を与える大型クラゲについて、その出現状況を調査する。調査結果は、漁業関係者に迅速に情報提供を行い、漁業被害の低減を図る。 | 3,690 | 0 | 3,690 | 漁業情報サービスセンター |
| 23 | 受託 (その他) | 漁船活用型資源情報収集等支援事業 | H23～ | 漁業情報サービスセンターの日本海周辺漁況情報に利用するデータ(対象魚種に関する魚体組成並びに操業又は水揚げ状況)を調査整理する。 | 344 | 0 | 344 | 漁業情報サービスセンター |
| 24 | 受託 (その他) | 脂質測定器用検量線作成委託事業 | R2～ | オプトメカトロ社および島根県が共同開発した脂質測定器用の検量線を作成する。 | 1,632 | 0 | 1,632 | 漁業情報サービスセンター |
| 25 | 国補 (交付金) | 魚介類安全対策事業(貝毒) | H5～ | 貝毒被害を未然に防止するため、貝毒プランクトンの発生に関するモニタリング調査を県内4カ所で行う。なお公定法による麻痺性・下痢性貝毒検査は(公財)島根県環境保健公社で実施する。 | 246 | 200 | 46 | 農林水産省 |
| 26 | 国補 (交付金) | 魚病および養殖技術の普及指導 | H14～ | 水産生物の疾病診断、防疫指導を通して、魚病を予防し、その被害の軽減を図る。飼育担当者の防疫技術の向上を図り魚介類の養殖及び増養殖を推進する。 | 848 | 424 | 424 | 農林水産省 |
| 27 | 競争的資金 (その他) | 環境DNAを用いた内水面漁業資源量の解明と増殖策の創生事業 | H30～ | 環境DNAを用いて、アユ、溪流魚等の資源量モニタリングを行い、各種水産物の好適生息環境を把握し、さらに流れ、河床変動及び水温のシミュレーションモデルを用いて、各種資源量を左右する環境条件を解明する。 | 3,115 | 0 | 3,115 | 中国電力 |
| 《受託・交付金等 小計》 | | | | | 55,723 | 2,016 | 53,707 | |
| 【合計】 | | | | | 95,543 | 41,836 | 53,707 | |